

第4回交通対策特別委員会 会議資料

案件1	北大阪急行線延伸について……………	2
案件2	地域公共交通バスについて……………	6
視 察	北大阪急行線延伸工事……………	9

令和2年（2020年）2月7日

地域創造部・みどりまちづくり部

【案件 1】

北大阪急行線延伸について

1 進捗状況について

(1) 鉄軌道設計等（参考資料1）

①市施行区間（開削区間、高架区間）

- ・令和元年度は、施工に必要な詳細設計やインフラ外部（軌道・建築・設備・電気）等の設計を実施中
- ・インフラ外部（軌道・建築・設備・電気）等の設計は令和2年度も引き続き実施予定
- ・道路復旧等の設計は令和2年度以降に実施予定

②北大阪急行電鉄施行区間（シールドトンネル区間）

- ・令和元年度は、施工に必要な詳細設計やインフラ外部（軌道・建築・設備・電気）等の設計を実施中
- ・インフラ外部（軌道・建築・設備・電気）等の設計は令和2年度も引き続き実施予定

(2) 工事、用地への権利設定関連

①市施行区間（開削区間、高架区間）

<工事>（参考資料1）

- ・令和元年度は、平成28年度から引き続き、第1工区（開削区間）、第2工区（高架区間）の構造物をつくる工事を実施中
- ・第2工区の駅舎上屋工事やインフラ外部（軌道・建築・設備・電気）等の工事は、構造物をつくる工事の進捗に合わせて実施予定
- ・箕面萱野駅、箕面船場阪大前駅の駅舎本体については、令和3年度に完成予定
- ・道路等の復旧工事等については、令和5年度以降に実施予定

②北大阪急行電鉄施行区間（シールドトンネル区間）

<工事>（参考資料1）

- ・令和元年度は、平成29年度から引き続き、シールドトンネル区間の構造物をつくる工事を実施中
- ・豊中市の新千里東町1丁目交差点付近の換気所の設置工事は、令和元年度に完成予定
- ・シールドマシンによるトンネル本体工事は、令和2年度に箕面船場阪大前駅部から換気所までの区間で完成予定
- ・インフラ外部（軌道・建築・設備・電気）等の工事は、構造物をつくる工事の進捗に合わせて実施予定

<用地の権利設定>

- ・約2,200㎡の土地の権利設定を令和2年度～3年度に実施予定

(3) 事業費の状況

- ・事業費（継続費）に対する工事費の状況（参考資料2）

2 国家要望について

国土交通大臣への要望（参考資料3）

- ・日 時：令和元年12月23日
- ・要 望 先：国土交通大臣
- ・要望内容：北大阪急行線延伸事業の財源確保
社会資本整備総合交付金の充実

3 市民等への情報提供等について

(1) 説明会（令和元年12月末時点）

①市全域を対象とした説明会の開催

- ・計5回（令和元年7月）、参加人数計64名
- ・過年度からの累計41回、参加人数累計629名

②出張説明会の開催

- ・計1回（令和元年5月）、参加人数28名
- ・過年度からの累計102回、参加人数累計2,939名
（豊中市域での説明会を含む）

③都市計画説明会、都市計画事業認可及び工事説明会の開催

- ・計10回（平成27年度～28年度）、参加人数計560名
（箕面市域6回、305名）（豊中市域4回、255名）

※平成19年度以降の説明会総合計

- ・累計153回、参加人数累計4,128名

(2) 広報紙、情報紙、ホームページ等

①北大阪急行線延伸に向けた取り組み等についての広報紙「きたきた通信」第20号（令和元年9月号）、21号（令和元年12月号）を発行（参考資料4）

②市ホームページにて情報掲載（随時）、工事進捗状況を掲載（毎月）

③現地に工事進捗をお知らせする看板や、国道171号などの広域幹線道路に工事実施をお知らせする横断幕を設置

④箕面まつりで事業PRブース設置（令和元年7月28日～29日）

⑤北急延伸工事こども見学会を開催（令和元年12月7日、14日）

4 関連事業について

(1) 箕面萱野駅前の交通関連施設の整備 (参考資料1)

- ①交通広場 (バス乗り場、タクシー乗降場)
 - ・ P F I 手法で整備することを決定
 - ・ 基本設計を平成28年度に実施
 - ・ 令和2年度に P F I 事業者を決定し、詳細設計を実施予定
 - ・ 令和3年度以降に工事予定
- ②駐輪場 (地下・新御堂筋高架下)
 - ・ P F I 手法で整備・運営することを決定
 - ・ 基本設計を平成28年度に実施
 - ・ 令和2年度に P F I 事業者を決定し、詳細設計を実施予定
 - ・ 令和3年度以降に工事予定
- ③都市計画道路 (萱野東西線、芝如意谷線)
 - ・ 都市計画道路萱野東西線 (東部地区 約470m)
用地取得状況 約90%、工事進捗状況 約70%
平成28年4月に一部供用済み (千里2号線～箕面今宮線 約190m)
 - ・ 都市計画道路萱野東西線 (西部地区 約340m)
用地取得状況 100%、工事進捗状況 約70%
 - ・ 都市計画道路芝如意谷線 (萱野東西線以南地区 約500m)
用地取得状況 約70%、工事進捗状況 約10%

(2) 箕面船場阪大前駅前の交通関連施設の整備 (参考資料1)

- ①箕面船場駐車場 (地下)
 - ・ P F I 手法で整備・運営することを決定
 - ・ 平成29年度に P F I 事業者を決定
 - ・ 平成30年度に基本設計、詳細設計を実施
 - ・ 令和元年度から工事を実施し、令和2年度も引き続き工事予定
- ②箕面船場第一駐輪場 (デッキ下)
 - ・ P F I 手法で整備・運営することを決定
 - ・ 令和元年度に P F I 事業者を決定し、その後、詳細設計を実施
 - ・ 令和2年度に工事予定
- ③箕面船場第二駐輪場 (駅舎)
 - ・ 市施行で整備し、P F I 事業者で運営することを決定
 - ・ 令和元年度に P F I 事業者を決定
 - ・ 令和4年度以降に工事予定

- ④地下の駅改札口と地上をつなぐエントランス
 - ・平成29年度に詳細設計の委託事業者を決定
 - ・平成30年度に詳細設計を実施
 - ・令和2年度以降に工事予定
- ⑤船場の東西をつなぐ歩行者デッキ
 - ・平成28～29年度に詳細設計を実施
 - ・平成30年度に工事事業者を決定
 - ・令和元年度に工事を実施
 - ・令和2年度以降も引き続き工事予定

【案件 2】

地域公共交通バスについて

1 オレンジゆずるバスの運行状況について

(1) 月曜～土曜の運行の状況（参考資料5）

【利用状況】（1日及び1便あたりの平均利用者数）

- 本格運行〈遅延対策前〉（平成25年5月～平成26年4月）：1,346人/日 35人/便
- 本格運行〈遅延対策後〉（平成26年5月～平成27年3月）：1,365人/日 36人/便
- （平成27年4月～平成28年3月）：1,408人/日 37人/便
- （平成28年4月～平成29年3月）：1,496人/日 39人/便
- （平成29年4月～平成30年3月）：1,588人/日 42人/便
- （平成30年4月～平成31年3月）：1,597人/日 42人/便
- （平成31年4月～令和元年11月）：1,677人/日 44人/便
- 最大：2,192人/日（令和元年度実績）

【本格運行内容】

- 運行ルート：市内3ルート 青ルート（西部北・東部北循環）
赤ルート（中部・東部中循環）
黄ルート（西部南・東部南循環）
- ※市内3ルートの平均運行距離は、約27km/便
各ルート1時間に1便のパターンダイヤ

○運行日時：月曜～土曜（12月29日～1月3日は除く）、7時台～18時台

○運賃：大人 220円、小児 110円、障害者等・70歳以上の高齢者 100円

【収支率】（年度）

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
収支率(%) (目標50%)	30.0	32.6	34.7	45.8	48.0	48.9	48.6	49.0	47.7	48.1

(2) 日曜・祝日の運行の状況（参考資料5）

【利用状況】（1日及び1便あたりの平均利用者数）

- 本格運行（平成28年7月～平成29年3月）：133人/日 11人/便
- （平成29年4月～平成30年3月）：133人/日 11人/便
- （平成30年4月～平成31年3月）：137人/日 12人/便
- （平成31年4月～令和元年11月）：148人/日 12人/便
- 最大：204人/日（令和元年度実績）

【本格運行内容】

○運行ルート：市内2ルート 紫ルート（箕面駅・桜井・平和台・如意谷循環）

緑ルート（かやの中央・小野原・粟生団地循環）

※市内2ルートの平均運行距離は、約13km/便

各ルート1.5～2時間に1便の運転士1人で効率的に
運行するダイヤ

○運行日時：日曜・祝日（12月29日～1月3日含む）、9時台～17時台

○運賃：大人 220円、小児 110円、障害者等・70歳以上の高齢者 100円

【収支率】

(年度)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
収支率(%) (目標50%)	19.9	21.0	25.2	30.3	30.7	31.5	32.2

2 地域公共交通網形成計画の作成について

(1) 地域公共交通網形成計画作成の目的（参考資料6）

持続可能な都市に向け箕面市では、立地適正化計画を作成（平成28年2月）し、「コンパクトなまちづくり」と「公共交通によるネットワーク」に取り組んでいる。

とりわけ、「公共交通によるネットワーク」については、北大阪急行線延伸に事業着手したことから、開業に合わせてバス路線の再編を行う必要がある。

そのため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき「地域公共交通網形成計画」を作成する。

(2) 地域公共交通網形成計画等の進め方

【平成28年度】

○各アンケートの実施・データ集計

①市民意向の把握（市民アンケート、利用者アンケートの実施）

・市民アンケート（平成29年2月実施、配布数5,000、回収率57.2%）

・利用者アンケート（平成29年2月実施、配布数11,512、回収率27.3%）

②現在の交通行動の把握

・パーソントリップ（PT）調査の分析（クロス集計・分析）

・OD（起点(origin)、終点(destination)）調査の分析（クロス集計・分析）

③分科会・協議会の開催

・路線バス網再編検討分科会：1回開催

・地域公共交通活性化協議会：3回開催

【平成29年度、30年度】

○地域公共交通網形成計画の作成

①バス路線再編の検討

- ・現在の路線バスの利用状況の分析
- ・分析ゾーンの設定（地域特性の確認）
- ・市民・利用者アンケート結果をゾーン別に分析
- ・路線バス再編の行き先をゾーン別に分析（市民・利用者アンケート結果から、路線バス再編の市民・路線バス利用者の行き先意向の割合を分析）
- ・市民・路線バス利用者の行き先意向の割合をバス路線に反映するために、条件設定ラインを検討

②分科会・協議会の開催

- ・路線バス網再編検討分科会：2回開催
- ・地域公共交通活性化協議会：4回開催

【令和元年度、2年度】

○地域公共交通網形成計画の作成

①バス路線再編の検討

- ・バス路線再編案（運行ルート・運行本数）の検討（需要予測、採算性の検証含む）
- ・バス路線再編案についてバス事業者と協議・調整（採算性の検証含む）

②地域公共交通網形成計画の作成

- ・現状・課題整理
- ・計画の目標・施策等の検討
- ・計画案の作成（バス路線再編案の検討、路線バスとオレンジゆずるバスとの役割分担の検討、関係府県、自治体等との協議調整）
- ・市民・利用者の意見反映（説明会、パブリックコメントの実施）

③分科会・協議会の開催

- ・路線バス網再編検討分科会：複数回開催予定
- ・地域公共交通活性化協議会：1回開催（以降複数回開催予定）

【令和3年度、4年度、5年度】

○地域公共交通再編実施計画の作成

- 許認可手続き、バス停設置等を行い、令和5年度の鉄道開通に合わせた実証運行の開始を目指す。

【視察】

北大阪急行線延伸工事

1. 日時 令和2年2月7日（金） 13時15分から（参考資料7）

2. 行程 13：15 【行程等説明】 箕面市役所 委員会室

13：45 箕面市役所 正面玄関前 発
↓
14：00 1班 シールド区間（箕面市船場東）着
2班 高架区間（箕面市西宿）着

【視 察】

1班

- ① シールド区間
- ② 高架・開削区間
- ③ 高架区間

2班

- ① 高架区間
- ② 高架・開削区間
- ③ シールド区間

16：00 1班 高架区間（箕面市西宿）発
2班 シールド区間（箕面市船場東）発
↓
16：15 箕面市役所 正面玄関前 着

- ※ 天候によりコース変更及び車中からの視察になることがあります。
- ※ 防寒対策のご用意をお願いします。
- ※ 汚れても良い服装でご参加をお願いします。
- ※ 軍手・ヘルメットはこちらで準備します。

第4回交通対策特別委員会

参考資料

参考資料1	北大阪急行線延伸事業及び関連事業の進捗状況……………	2
参考資料2	北大阪急行線延伸における事業費の変更について……………	4
参考資料3	北大阪急行線の延伸についての要望……………	6
参考資料4	北急延伸ニュース「きたきた通信」……………	13
参考資料5	オレンジゆずるバスの本格運行の状況……………	21
参考資料6	箕面市地域公共交通網形成計画の作成について……………	25
参考資料7	北大阪急行線延伸工事現場視察……………	30

令和2年（2020年）2月7日

地域創造部・みどりまちづくり部

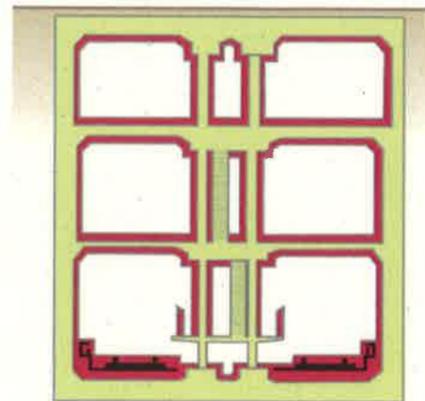


シールドトンネル区間

- 現在** 構造物をつくる工事を実施
軌道、設備等の設計を実施
- 今後** 構造物をつくる工事を引き続き実施予定
設備等の設計・工事を令和2年度以降も引き続き実施予定

箕面船場阪大前駅(地下駅本体)

- 現在** 構造物をつくる詳細設計・工事を実施
内装、軌道、設備等の設計を実施
- 今後** 構造物をつくる工事を引き続き実施予定
設備等の設計・工事を令和2年度以降も引き続き実施予定



■ 箕面市施工(構造物)
■ 北大阪急行電鉄施工(内装・設備)

箕面船場阪大前駅の交通施設

箕面船場駐車場(地下)

- 現在** 令和元年度に工事を実施
- 今後** 令和2年度も引き続き工事予定

箕面船場第一駐輪場

- 現在** 令和元年度にPFI事業者を決定し、詳細設計を実施
- 今後** 令和2年度に工事予定

箕面船場第二駐輪場

- 現在** 市施行で整備し、PFI手法で運営することを決定
令和元年度にPFI事業者を決定
- 今後** 令和2年度に市施工業者を決定し、令和4年度以降に工事予定

エントランス

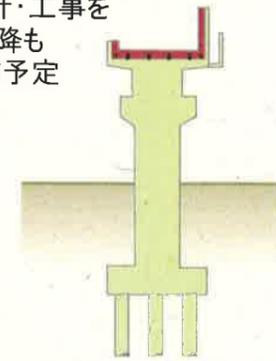
- 現在** 平成29年度に委託事業者を決定
平成30年度に詳細設計を実施
- 今後** 令和2年度以降に工事予定

歩行者デッキ

- 現在** 令和元年度に工事を実施
- 今後** 令和2年度以降も引き続き工事予定

高架区間

- 現在** 構造物をつくる工事を実施
軌道、設備等の設計を実施
- 今後** 構造物をつくる工事を引き続き実施予定
設備等の設計・工事を令和2年度以降も引き続き実施予定



■ 箕面市施工(構造物)
■ 北大阪急行電鉄施工(設備)

箕面萱野駅の交通施設

交通広場 (バス乗り場など)

- 現在** PFI手法で整備することを決定
- 今後** 令和2年度にPFI事業者を決定
令和3年度以降に工事予定

駐輪場 (地下・新御堂筋高架下)

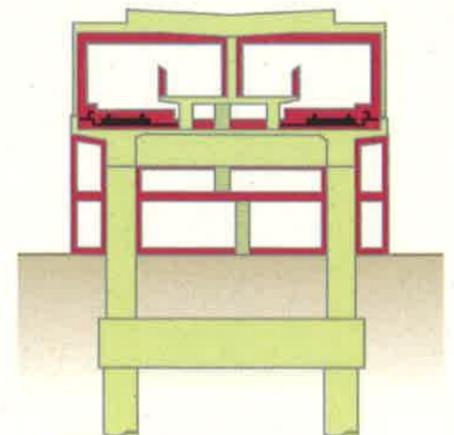
- 現在** PFI手法で整備することを決定
- 今後** 令和2年度にPFI事業者を決定
令和3年度以降に工事予定

駅ビル

- 現在** PFI手法で整備することを決定
- 今後** 令和2年度にPFI事業者を決定
令和3年度以降に工事予定

箕面萱野駅(駅舎本体)

- 現在** 構造物をつくる工事を実施
内装、軌道、設備等の設計を実施
- 今後** 構造物をつくる工事を引き続き実施予定
設備等の設計・工事を令和2年度以降も引き続き実施予定



■ 箕面市施工(構造物)
■ 北大阪急行電鉄施工(内装・設備)

北大阪急行線延伸における事業費の変更について（建設費）

1. 事業費の推移

・ 当初見込み（2016.4時点）

建設費 600億				
開削区間 84.2億	高架区間 95.3億	シールド区間 163.8億	インフラ外工事等 176.2億	
発注予定 11.7億		発注予定 35.8億	設計・用地 33億	

・ インフラ工事契約後（2016.12時点）

開削区間 74.5億	高架区間 85.4億	差金 79.9億	シールド区間 103.5億	インフラ外工事等 176.2億	
発注予定 11.7億		発注予定 35.8億	設計・用地 33億		

（単位：億円）

	開削区間	高架区間	シールド区間	インフラ外工事等	設計・用地
発注済工事の増	—	+ 25.4	—	—	—
発注予定工事の発注	5.4	16.0	—	—	—
コスト縮減	—	▲ 6.7	—	▲ 9.6	—

・ 大阪市高速電気軌道(株)(Osaka Metro)工事協定締結時（2018.4時点）

開削区間 79.9億	高架区間 126.8億	差金 70.8億	シールド区間 103.5億	インフラ外工事等 166.6億	
発注予定 6.3億		発注予定 13.1億	設計・用地 33億		

H30年第1回
市議会時に
議案説明済

（単位：億円）

	開削区間	高架区間	シールド区間	インフラ外工事等	設計・用地
発注済工事の増	+ 19.4	+ 44.2	+ 3.1	—	+ 6.3
発注予定工事の発注	6.3	0.8	—	—	—
コスト縮減	—	▲ 4.0	—	▲ 2.4	—
新規追加	4.0(北橋出入口)	—	—	—	—

※ 詳細は、2. 変更金額の内訳のとおり

・ 現在(2020.2現在)

建設費 600億				
開削区間 105.6億	高架区間 171.8億	シールド区間 106.6億	インフラ外工事等 164.2億	
発注予定 4.0億(北橋出入口)	発注予定 8.3億(駅舎、復旧等)	差金 0.2億	設計・用地 39.3億	

2. 変更金額の内訳（2018.4以降）

変更① 発注済工事の増*

（開削区間：+19.4億円 / 高架区間：+44.2億円 / シールド区間：+3.1億円）

■ 開削区間(第1工区)（+19.4億円）

- ・ 硬質地盤による掘削機械の変更 (+ 4.9億円)
- ・ スライド条項に基づく増額(物価上昇による影響) (+ 4.6億円)
- ・ 交通管理者(警察)協議による交通誘導員の増及び施工時間帯の変更 (+ 3.7億円)
- ・ 沿道環境に配慮した施工方法の変更及び施工時間帯の変更 (+ 2.2億円)
- ・ 変電機器の設置場所変更に伴う構造変更 (+ 2.2億円)
- （上記により、インフラ外工事費(9.6億円)が軽減）
- ・ 道路管理者協議による施工方法の変更等 (+ 1.8億円)

■ 高架区間(第2工区)（+44.2億円）

- ・ 国との協議による設計基準の変更に伴う構造変更 (+33.3億円)
- ・ スライド条項に基づく増額(物価上昇による影響) (+ 3.9億円)
- ・ 交通管理者(警察)協議による交通誘導員の増及び施工時間帯の変更 (+ 2.9億円)
- ・ 地中障害物(コンクリート擁壁)の撤去 (+ 2.1億円)
- ・ 道路管理者協議による施工方法の変更等 (+ 2.0億円)

■ シールド区間（+3.1億円）

- ・ 地中障害物(土留め壁)の撤去 (+ 3.1億円)

■ 設計・用地（+6.3億円）

- ・ 三大都市圏の地価高騰(2013年から連続上昇)の影響による用地取得費の増及び建物移転工法や補償対象工作物等の確定による補償費の増 (+ 3.3億円)
- ・ 国との協議による設計基準の変更に伴う設計費の増 (+ 3.0億円)

※ 消費税増税による影響額含む

変更② 発注予定工事の発注（開削区間：6.3億円 / 高架区間：0.8億円）

■ 開削区間(第1工区)（6.3億円）

- ・ 国道423号の道路管理者等と協議を行い、本線の道路擁壁や中央分離帯などの復旧方法が決定 (+ 4.3億円)
- ・ 各施設所有者と協議を行い、工事期間中の埋設管(電気、下水等)の防護方法が決定 (+ 2.0億円)

■ 高架区間(第2工区)（0.8億円）

- ・ 各施設所有者と協議を行い、工事期間中の埋設管(電気、下水等)の防護方法が決定 (+ 0.8億円)

変更③ 工事内容の新規追加（開削区間：+4.0億円）

- ・ 箕面船場阪大前駅におけるバリアフリー対応出入口(北橋出入口)工事の追加(+ 4.0億円)

3. 発注済工事の増の主な要因

■ 硬質地盤による掘削機械の変更（開削区間：+4.9億円）

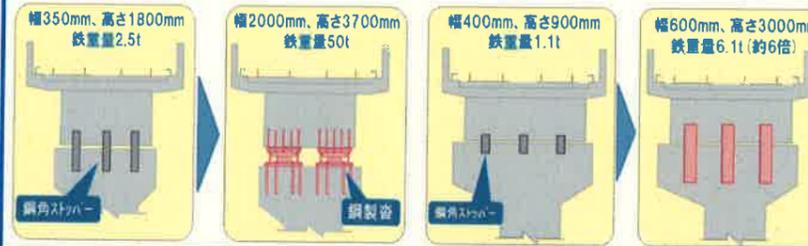
掘削箇所（神戸層群）の土質が想定より硬く、掘削方法（掘削機械）を変更する必要が生じた。



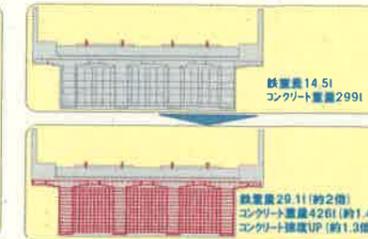
■ 国との協議による設計基準の変更に伴う構造変更（高架区間：+33.3億円）

高架構造物の設計にあたって、国土交通省との協議の結果、設計基準を“鉄道基準”から、“鉄道基準”に加えて“道路基準”も満たす必要が生じ、構造を変更する必要が生じた。

【橋桁・橋脚の接続部材の変更(+17.3億円)】



【桁の増強(+12.0億円)】

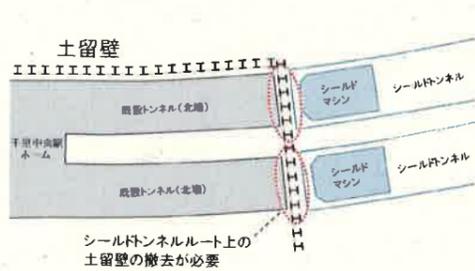


【落橋防止装置の設置(+4.0億円)】



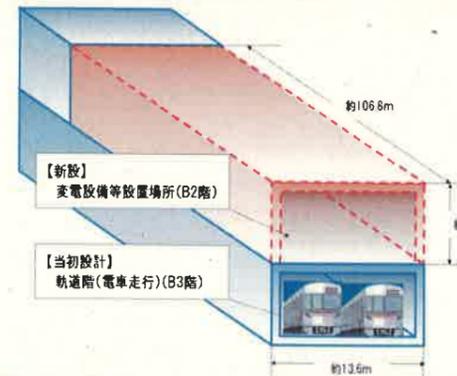
■ 地中障害物(土留め壁)の撤去（シールド区間：+3.1億円）

シールドトンネルルート上に昔の土留め壁が発見され、撤去する必要が生じた。



■ 変電機器の設置場所変更に伴う構造変更（開削区間：+2.2億円）

当初、沿道に変電設備用地を確保する予定であったが、全体事業費削減等の観点から、箕面船場阪大前駅の躯体の中へ格納することとしたため、構造の変更（1層追加）が生じた。
(別途、インフラ外工事費(9.6億)が縮減)



■ 地中障害物(コンクリート擁壁)の撤去(高架区間:+2.1億円)

基礎杭施工箇所に昔のコンクリート擁壁が発見され、撤去する必要が生じた。



■ その他の主な増額要素

- ・ スライド条項に基づく増額(物価上昇による影響) (開削区間:+4.6億円/高架区間:+3.9億円)
- ・ 交通管理者(警察)協議による交通誘導員の増及び施工時間帯の変更 (開削区間:+3.7億円/高架区間:+2.9億円)
- ・ 道路管理者協議による施工方法の変更等 (開削区間:+1.8億円/高架区間:+2.0億円)
- ・ 沿道環境に配慮した施工方法の変更及び施工時間帯の変更 (開削区間:+2.2億円)



北大阪急行線の延伸についての要望

令和元年12月23日

国土交通大臣

赤羽 一 嘉 殿

北大阪急行線延伸推進会議

議長 箕面市長 倉田 哲郎

大阪・関西が再び力強く発展していくためには、圏域内外の交流を促進することが不可欠であり、とりわけ、国土軸・都心・関西国際空港を結ぶ南北軸を強化することが望まれます。

また、自動車交通により「人・モノ」が過度に集中する大阪圏においては、物流は自動車、人流は公共交通へ分散させ、安心・安全で環境にも優しい次世代型の交通体系を構築していくことが必要であり、箕面市では、コンパクトシティの形成と持続的な公共交通ネットワークの再構築に向けて、平成28年2月に「箕面市立地適正化計画」を策定し、「北大阪急行線の延伸」及び「新駅周辺のまちづくり」を進めています。

平成16年10月の近畿地方交通審議会答申第8号に位置づけられた「北大阪急行線の延伸」は、地域の発展、経済社会活動全般を活性化させる事業であるとともに、公共交通中心のまちづくりを推進するためにも、重要かつ緊急を要する事業です。

箕面市においては、これまで、事業費負担の平準化を図るため基金を積み立てるとともに、平成24年度より社会資本整備総合交付金の支援

を受けて事業を進めています。

平成28年度には8月に大阪府から都市計画法に基づく事業認可を、11月に国土交通大臣から延伸線の鉄道事業法及び軌道法に基づく工事施行認可をいただき、令和5年度の開業を目指して工事を進めているところです。

また、「新駅周辺のまちづくり」については、新駅を中心としたバス路線の再編とともに、北大阪急行線延伸の開業に先がけ、文化ホール及び大阪大学箕面キャンパスなどの令和3年春のオープンに向けて着工し、新たなまちづくりの核となる都市機能誘導施設の整備を積極的に進めているところです。

国におかれましては、こうした事情をご賢察のうえ、本路線の事業推進のため、次の事項について、引き続き特段の配慮をいただきますよう、是非ともお願いします。

1. 「北大阪急行線延伸事業」の財源確保

北大阪急行線延伸事業は、環境負荷の軽減・少子高齢化社会に対応した公共交通中心を軸としたまちづくりを推進するため、「総合交通戦略」のリーディングプログラムとして重要かつ緊急を要する事業であるため、本事業（都市・地域交通戦略推進事業）並びに新駅周辺のまちづくり（都市再生整備計画事業）に対する財源確保について特段の配慮を願いたい。

2. 社会資本整備総合交付金の充実

本格的な人口減少を迎える中であっても、経済社会の活力と魅力を維持・向上させるために、持続可能な都市構造の実現を図るとともに、成長の基礎となる社会資本整備を着実に進めていくことが重要です。

特に、コンパクト・プラス・ネットワークの形成や防災・減災対策など、総合的かつ計画的に推進を図るものとして、重要性・緊急性が全国的に拡大していることから、自治体の要望内容を反映させた「社会資本整備総合交付金」の安定的な財源確保及び安定的な交付策を講じるための適切な措置を願いたい。

北大阪急行線延伸推進会議構成

「構成員」

大阪府箕面市
箕面商工会議所
大阪北部農業協同組合
大阪船場繊維卸商団地協同組合

「顧問」

大阪府議会議員（地元選出議員）
箕面市議会議員
（議長、副議長）
（交通対策特別委員会委員長、副委員長）

「オブザーバー」

大阪府

「支援団体」

（大阪府） 豊能町、能勢町
（兵庫県） 川西市、丹波篠山市、猪名川町
（京都府） 亀岡市、南丹市、京丹波町

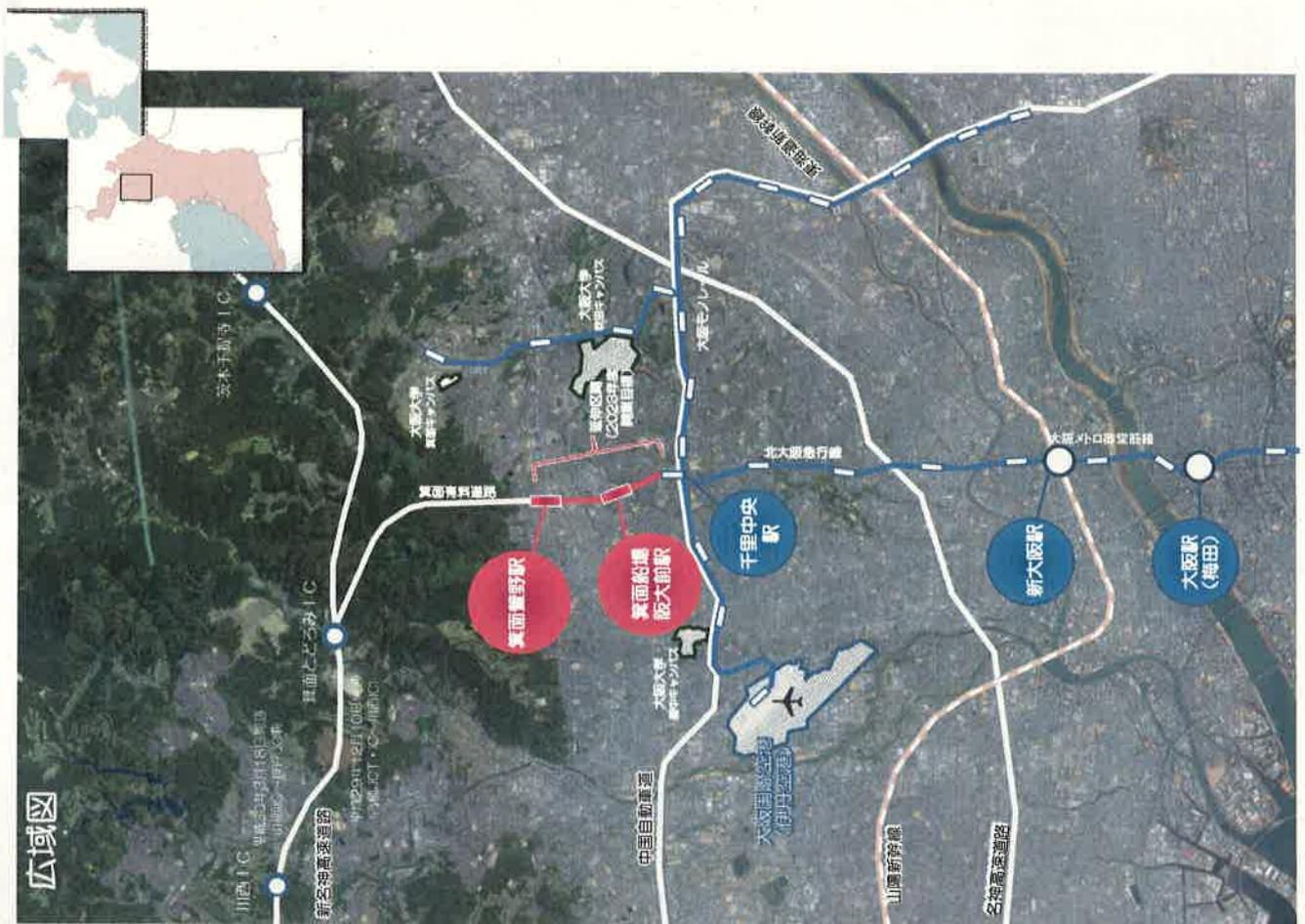
「賛助会員」

自治会

稲西自治会、小野原自治連合会、宮崎自治会、若宮自治会、神楽自治会、岩戸自治会
大西自治会、日の丸自治会、大東自治会、日の出自治会、粟生間谷地区、奥自治会
川合自治会、中村自治会、山之口自治会、粟生新家自治会、粟生外院自治会
北浦自治会、芝自治会、今宮自治会、西宿自治会、今宮南自治会、如意谷第2自治会
箕面如意谷住宅自治会、今宮東自治会、白島自治会、石丸自治会、唐池公園地区自治会
今宮コミュニティクラブ、箕面東自治会、メゾン箕面青松園前自治会
西小路第三自治会、坊島泉自治会、新生自治会、坊島自治会、上止々呂美自治会
船場西地区連合自治会、西宿二丁目自治会

各種団体・学校など

かやの中央まち育て協議会、(一社)箕面青年会議所、箕面ライオンズクラブ
箕面船場ライオンズクラブ、箕面ロータリークラブ、箕面千里中央ロータリークラブ
箕面FMまちそだて(株)、箕面市観光協会、(公財)箕面市メイプル文化財団
(公財)箕面市国際交流協会、(一社)大阪府宅地建物取引業協会北摂支部
箕面測量設計協会、箕面都市開発(株)、緑遊新都心(株)、東急不動産(株)、ウィル包装(株)
大和ハウス工業(株)北摂支店、弘伸商事(株)、(株)シュウロウライフ、近畿セイビ(株)、
箕楽会、箕面市建設業協同組合、箕面市管工事業協同組合、
箕面船場まちづくり協議会、大阪大学外国語学部、聖母被昇天学院、
大阪青山大学・短期大学、梅花女子大学・短期大学部、関西大倉中学校・高等学校、
追手門学院、早稲田摂陵中学校・高等学校



社会資本整備総合交付金を活用した 北大阪急行線の延伸と新駅周辺のまちづくり

資料1

都市・地域 交通戦略推進事業

都市交通の円滑化を図るとともに、都市再生を推進するため、公共交通からなる都市の交通システムの整備に資する事業

交通広場・駐輪場を整備

- 交通結節点の整備
 - ・バスロータリーやタクシーパースの整備
 - ・駐輪場などを整備

北大阪急行線の延伸事業

- 公共交通の充実
 - ・鉄道を2.5km延伸し、新駅を2つ整備

バス路線の再編

- ・地域公共交通網形成計画を策定し、公共交通の利便性を強化



※上記事業と併せて、駅周辺の都市計画道路の整備

立地適正化計画に基づく「コンパクト+ネットワーク」を推進するまちづくり



都市再生 整備計画事業

地域の特性を活かした個性あるまちづくりを実施し、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的とした事業

箕面萱野駅周辺まちづくり

PFによる集客力のある施設を整備

- バスロータリーの上空を立体利用
 - ・「子育て」施設の整備

箕面船場阪大前駅周辺まちづくり

PFによる文化ホールなどを整備

- 駅前の高度利用、都市機能集積
 - ・文化ホール、図書館の移転・新築
 - ・駐輪場、駐車場等の整備

保健医療・スポーツ・文化を核に

- 健康長寿のための拠点づくり
 - ・健康機能を備えた複合施設の整備（産学官協働）

特殊街路・開削トンネル

※上記事業と併せて、大阪大学箕面キャンパスが令和3年春に開校

土地区画整理事業（大街区化）

駅周辺に新たな都市機能を導入・集約できるよう、敷地を大街区化する土地区画整理事業を実施 10



箕面萱野駅周辺 「子育て」を築物の核として まちの賑わいを創出



箕面船場 阪大前駅周辺

国土軸からの交通アクセスを活かして
ビジネスを築く
（箕面船場駅前地区土地区画整理事業）



鉄道延伸工事（シールド工事）



北大阪急行線の延伸と新駅周辺のまちづくり 工事スケジュールと事業費



北急延伸計画の概要

延伸距離	約2.5km
新駅	箕面船場阪大前駅 (地下駅) 箕面菅野駅(高架駅)
総事業費	650億円
需要予測	45,000人/日

○事業が本格化しているため、令和2年度以降も多額の事業費が必要となります。

○引き続き事業費の縮減等で国費所要額の圧縮に努めますが、今後の予算編成等での財源確保について、特段の配慮を願いますようお願い致します。

北急延伸工事のスケジュールと事業費年度割

施行	工事	～H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
区間	区間	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
箕面市	① 高架区間	準備工	高架構造物工			設備工		道路・河川復旧工		
	② 開削区間	準備工	地下構造物工			設備工		道路復旧工		
北急	③ シールド区間	準備工	中間換気所工		シールド工					
	インフラ外(空欄)						設備工			

(単位:億円)	実績額 計画所要額					計画所要額				
総事業費	650.0	131.2	32.2	90.4	103.2	75.6	70.2	87.2	59.2	0.8
国費	270.0	65.7	15.5	45.5	48.3	25.8	19.4	27.4	21.4	0.0

○令和5年度開業に向けて必要な額(国費ベース) **95.0億円**

新駅周辺のまちづくりのスケジュールと事業費年度割

	～H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
土地区画整理事業	除却		インフラ工事		第1期まちびらき		第2期まちびらき	
船場まちづくり	第1期PF1事業	PFI事業者募集		基本設計 実施設計	工事			
	第2期PF1事業	基本設計		PFI事業者募集	実施設計	工事		
	エントランス等整備事業	実施設計		工事				
箕面菅野まちづくり	基本設計		PFI事業者募集		実施設計	工事		まちびらき

(単位:億円)	実績額 計画所要額				計画所要額				
総事業費	171.6	25.1	13.7	13.8	74.4	22.3	6.6	8.4	7.3
国費	59.2	16.4	5.8	4.3	17.1	4.6	3.2	4.2	3.6

○令和5年度まちびらきに向けて必要な額(国費ベース) **15.6億円**

きたきた通信

No. 20



【開業目標を見直しました】

これまで、令和2年度の開業をめざし、北大阪急行線の延伸事業を進めてきましたが、「用地交渉が長期化した」「撤去の必要な地中構造物が発見された」などの事情により、開業目標を3年延期し、令和5年度に見直しました。

新たな開業目標に向けて、引き続き安全確保と周辺環境へ十分配慮しながら、最大限の努力を行ってまいりますので、市民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。



開業目標の見直し理由

- 一部の用地が土地収用法の手続きに至るなど、用地交渉が長期化したこと(約18か月)
- 昔の新御堂筋(国道423号)で使われていたと思われる、全長150mの「コンクリート擁壁」が地下から見つかり、撤去作業が必要になったこと(約3か月)
- 千里中央駅の建設当時に設置された「土留め壁(土砂が崩れないように設置された鋼材を使用した壁)」がシールドトンネルのルート上から見つかり、撤去作業が必要になったこと(約17か月)



※こちらは箕面船場阪大前駅における工事写真です。
(類似のものがシールドトンネルルート上にあると推定)

総事業費は変わりません!

地中構造物などの撤去費用は、これまでの経費削減額でまかなうことができる見込みです。

市の負担は“北急貯金”と競艇収益金で賄います

現時点で想定されている延伸の事業費は650億円(建設費600億円、車両費50億円)で、そのうち箕面市の負担は170億円です。



箕面市の負担想定額170億円
“北急貯金”と競艇収益金のみで賄います

市の負担想定額170億円は、これまで貯めてきた北急延伸基金と、競艇事業からの収益金のみで賄うことができる見通しです。市は、この財源ルールを条例(箕面市財政運営基本条例)に定め、ずっと守り続けていきます。

新たな

開業目標に向けて工事が進捗!



Section 1 箕面萱野駅

高架区間

Section 2 線路部

高架区間

Section 3 箕面船場 阪大前駅

開削区間

Section 4 線路部

シールドトンネル区間

これまでの
スケジュール

新しい
スケジュール

これまでの
スケジュール

新しい
スケジュール

これまでの
スケジュール

新しい
スケジュール

これまでの
スケジュール

新しい
スケジュール



令和5年度(2023年度)の開業を目標に、現在、箕面市が施行する箕面萱野駅から箕面船場阪大前駅までの各区間や、北大阪急行電鉄(株)が施行する、箕面船場阪大前駅から千里中央駅間のトンネル工事(シールド)が本格化しており、今後はレール(軌道)敷設や電気工事、駅舎の建築なども始まります。

新駅周辺のまちづくりは着実に進んでいきます

箕面船場阪大前駅

新たな「文化とビジネスの拠点」として、北大阪急行線延伸に伴い新設される箕面船場阪大前駅周辺のまちづくりを進めています。

令和3年春にオープン予定

①地上6階、地下1階の複合公共施設

文化ホール、図書館、生涯学習センター、駐車場が一体となった複合公共施設の工事がスタートしました。令和3年春のオープンをめざします。

②メインデッキ(地区内デッキ)

駅前の各施設にアクセスするメインストリートを設置。デッキの下には駐輪場を整備します。

令和4年春にオープン予定

③歩行者デッキ

新御堂筋をまたぐ幅6m程度の歩行者デッキを設置し、西側からの利用者の利便性を確保します。

令和5年度にオープン予定

④駅北側出入口

新船場北橋の東側に出入口ができます。

⑤駅南側メイン出入口

歩行者デッキに接続し、船場の玄関口となります。

⑥駅前広場

駅前広場は、気軽にイベントにも使用できます。



⑦箕面船場阪大前駅

地下駅で、地下3階がプラットフォームです。また、駅舎には、機械式の駐輪場を整備します。

箕面萱野駅

駅舎は2階建てで、2階がプラットフォームになり、かやの中央の賑わいの中に接続します。



令和5年度にオープン予定

バスターミナル・タクシー乗り場・駐輪場を整備!

新たにバスターミナルやタクシー乗り場、地下駐輪場を整備します。さらに、バス路線の再編により新駅を中心とする充実した市内交通となります。

集客力のある施設を整備!

バス乗り場の上空を立体利用して「子育て」を核とした新しい施設を作り、まちの魅力をいっそう引き出します。

市民の皆さまの延伸実現への熱い思いが支えになります!

●寄附のお願い

安全で快適な暮らしを支える鉄道延伸事業を応援していただきたく、賛同いただける皆さまからの寄附をお願い申し上げます。インターネットやコンビニからでも寄附ができます。

なお、ふるさと寄附金によるご寄附のうち2,000円を越える部分については、税控除を受けることができます。

詳しくは [箕面市 ふるさと寄附金](#)

●賛助会員募集!

北大阪急行線延伸推進会議では、北急延伸実現に向けて国や関係者などに働きかけを行っています。

賛同いただける地元自治会など、多くの皆さまに「賛助会員」になっていただきますようお願い申し上げます。

ご賛同いただける団体等ございましたら、推進会議(ページ下お問い合わせ先)までご連絡ください。

出張
説明会
の
ご案内

いつでも説明に伺います

10人程度集まっていれば、計画の内容や現在の進捗状況など、出張して説明させていただきます!お気軽にお問い合わせください。(ページ下お問い合わせ先まで)

北大阪急行線延伸推進会議(構成メンバー)

令和元年8月末現在

構成員	箕面市、箕面商工会議所、大阪北部農業協同組合、大阪船場繊維卸商団地協同組合
顧問	地元選出府議会議員、市議会(議長・副議長・交通対策特別委員会委員長・同副委員長)
オブザーバー	大阪府
支援団体	豊能町、能勢町、川西市、丹波篠山市、猪名川町、亀岡市、南丹市、京丹波町
賛助会員	稲西自治会、小野原自治連合会、宮崎自治会、若宮自治会、神楽自治会、岩戸自治会、大西自治会、日の丸自治会、大東自治会、日の出自治会、粟生間谷地区、奥自治会、川合自治会、中村自治会、山之口自治会、粟生新家自治会、粟生外院自治会、北浦自治会、芝自治会、今宮自治会、西宿自治会、今宮南自治会、如意谷第2自治会、箕面如意谷住宅自治会、今宮東自治会、白鳥自治会、石丸自治会、唐池公園地区自治会、今宮コミュニティークラブ、箕面東自治会、メゾン箕面青松園前自治会、西小路第三自治会、坊島自治会、新生自治会、坊島自治会、上止々呂美自治会、船場西地区連合自治会、西宿二丁目自治会、かやの中央まち育て協議会、(一社)箕面青年会議所、箕面ライオンズクラブ、箕面船場ライオンズクラブ、箕面ロータリークラブ、箕面千里中央ロータリークラブ、箕面FMまちそでて(株)、箕面市観光協会、(公財)箕面市メイプル文化財団、(公財)箕面市国際交流協会、(一社)大阪府宅地建物取引業協会北摂支部、箕面測量設計協会、箕面都市開発(株)、線遊新都心(株)、東急不動産(株)、ワイルド包装(株)、大和ハウス工業(株)北摂支店、弘伸商事(株)、(株)シュウロウライフ、近畿セイビ(株)、箕面市建設業協同組合、箕面市管工事業協同組合、箕面船場まちづくり協議会、大阪大学外国語学部、聖母被昇天学院、大阪青山大学・短期大学、梅花女子大学・短期大学部、関西大倉中学校・高等学校、追手門学院、早稲田摂陵中学校・高等学校

お問い合わせ

北大阪急行線延伸推進会議(箕面市 地域創造部 鉄道延伸室)

〒562-0003 大阪府箕面市西小路4丁目6番1号 TEL:072-723-2121(代) FAX:072-722-7655

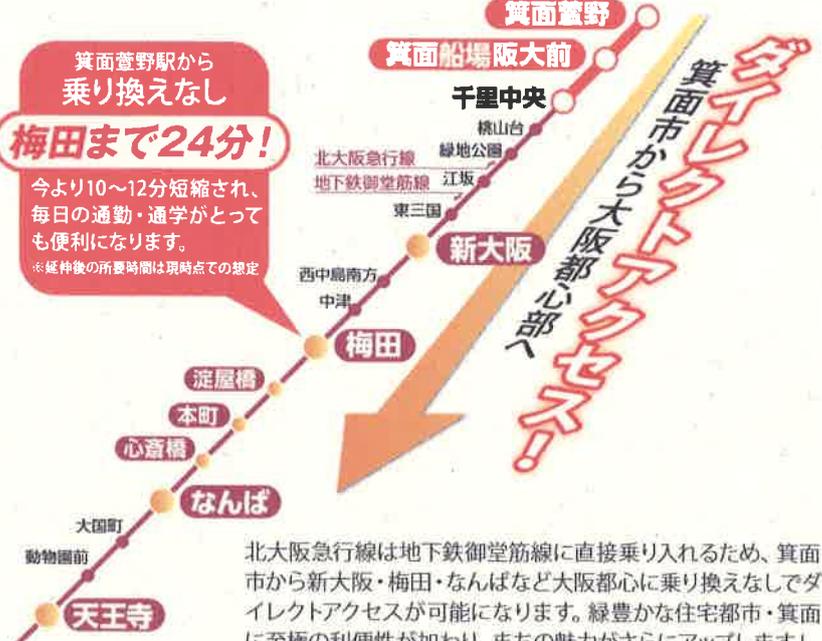
きたきた通信

No. 21

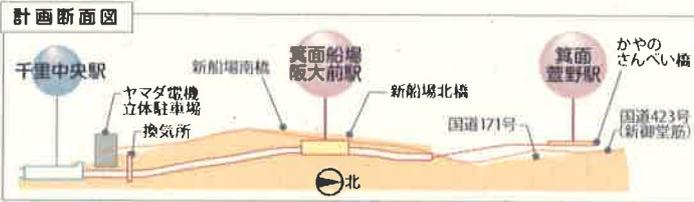


北大阪急行線 延伸工事中!

北大阪急行線を現在の千里中央駅から北へ2.5km延伸し、新駅を2つ作る“北大阪急行線延伸事業”は、平成28年3月、関係4者により基本協定を締結しました。同年12月には工事に着手しています。



北大阪急行線は地下鉄御堂筋線に直接乗り入れるため、箕面市から新大阪・梅田・なんばなど大阪都心に乗り換えなしでダイレクトアクセスが可能になります。緑豊かな住宅都市・箕面に至極の利便性が加わり、まちの魅力がさらにアップします!



開業目標 2023年度!



開業目標に向けて工事が進捗!



Section	2016~2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
Section 1 箕面荻野駅 高架区間	<ul style="list-style-type: none"> 工事用スペースを確保する 基礎杭をつくる 橋脚をつくる (地下部分) 	<ul style="list-style-type: none"> 橋脚をつくる (地上部分) 	<ul style="list-style-type: none"> 橋桁をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 線路をひく 	<ul style="list-style-type: none"> Section 2との工程調整 	<ul style="list-style-type: none"> 駅舎をつくる 道路を復旧する 完成
Section 2 線路部 高架区間	<ul style="list-style-type: none"> 工事用スペースを確保する 仮の川に切り替える 基礎杭をつくる 橋脚をつくる (地下部分) 用地交渉の長期化による遅延 コンクリート搬送機 	<ul style="list-style-type: none"> 橋脚をつくる (地上部分) 	<ul style="list-style-type: none"> 橋桁をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> 線路をひく 	<ul style="list-style-type: none"> Section 2との工程調整 	<ul style="list-style-type: none"> 千里川を復旧する 道路を復旧する 完成
Section 3 箕面船場阪大前駅 開削区間	<ul style="list-style-type: none"> 工事用スペースを確保する 土留め壁をつくる 鉄板を敷く 土を掘る 土を掘る 駅をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> Section 2との工程調整 	<ul style="list-style-type: none"> 土を埋める 出入口をつくる 道路を復旧する 	<ul style="list-style-type: none"> Section 2との工程調整 	<ul style="list-style-type: none"> Section 2との工程調整 	<ul style="list-style-type: none"> 線路をひく 駅舎をつくる 完成
Section 4 線路部 シールドトンネル区間	<ul style="list-style-type: none"> 中間換気所をつくる シールドマシンを搬入する 	<ul style="list-style-type: none"> 千里中央に向かって掘り進む 	<ul style="list-style-type: none"> 土留め壁を撤去 	<ul style="list-style-type: none"> トンネルを貫通する 	<ul style="list-style-type: none"> 線路をひく 電気設備などを整備する 	<ul style="list-style-type: none"> 完成

TOPICS

いよいよシールドマシンが稼働!!

令和元年9月、箕面船場阪大前駅から千里中央駅に向かって、シールドマシン(地下掘削機械)が動き始めました。北大阪急行線の列車をイメージしてデザインされた、全長約14m、直径約7mの巨大なマシン2機は、地下約30mの深さを約1,200m掘り進むこととなります。



令和5年度の開業を目標に、現在、箕面市が施行する箕面荻野駅から箕面船場阪大前駅までの各区間や、北大阪急行電鉄(株)が施行する、箕面船場阪大前駅から千里中央駅間のトンネル工事(シールド)が本格化しており、今後はレール(軌道)敷設や電気工事、駅舎の建築なども始まります。

Section 1
箕面荻野駅
高架区間

橋桁を橋脚に乗せる準備をしています。

Section 2
線路部
高架区間

地面に埋めた基礎杭の上に橋脚をつくっています。

Section 3
箕面船場阪大前駅
開削区間

箕面船場阪大前駅の駅舎をつくっています。

Section 4
線路部
シールドトンネル区間

箕面船場阪大前駅~千里中央駅間のシールドトンネルを掘っています。

新駅周辺も、まち全体も利便性がアップ!

箕面船場阪大前駅

新たな「文化とビジネスの拠点」として、北大阪急行線延伸に伴い新設される箕面船場阪大前駅周辺のまちづくりを進めています。

令和3年春にオープン予定

- ②メインデッキ (地区内デッキ)
駅前の各施設にアクセスするメインストリートを設置。デッキの下には駐輪場を整備します。
- ③大阪大学箕面キャンパス
令和3年4月の開校に向けて、大阪大学が校舎及び学生寮を整備します。

令和4年春にオープン予定

- ④歩行者デッキ
新御堂筋をまたぐ幅6m程度の歩行者デッキを設置し、西側からの利用者の利便性を確保します。

令和5年度にオープン予定

- ⑤駅北側出入口
新船場北橋の東側に出入口ができます。
- ⑥駅南側メイン出入口
歩行者デッキに接続し、船場の玄関口となります。
- ⑦駅前広場
駅前広場は、気軽にイベントにも使用できます。
- ⑧箕面船場阪大前駅
地下駅で、地下3階がプラットフォームです。また、駅舎には、機械式の駐輪場を整備します。

令和3年春にオープン予定 ①地上6階、地下1階の複合公共施設



文化ホール、図書館、生涯学習センター、駐車場が一体となった複合公共施設の工事がスタートしました。令和3年4月のオープンをめざします。

生涯学習センター



文化ホール

- 大ホール (1401席)
- 小ホール (300席)



図書館



駐車場

- 普通車116台
- 自動二輪車86台



箕面萱野駅

箕面萱野駅は2階建てで、2階がプラットフォームになり、かやの中央の賑わいの中に接続します。

令和5年度にオープン予定

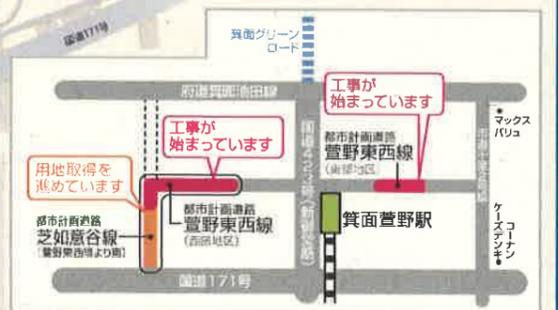
- ①集客力のある施設を整備!
バス乗り場の上空を立体利用して「子育て」を核とした新しい施設を作り、まちの魅力をいっそう引き出します。
- ②③バスターミナル・タクシー乗り場・駐輪場を整備!
新たにバスターミナルやタクシー乗り場、地下駐輪場を整備します。さらに、バス路線の再編により新駅を中心とする充実した市内交通となります。

新しい都市計画道路を整備!

周辺の交通渋滞や住宅地の通り抜けなどを抑制するため、萱野東西線及び芝如意谷線の整備をします。

鉄道延伸後も、萱野地域の豊かな田園風景を守り育てます!

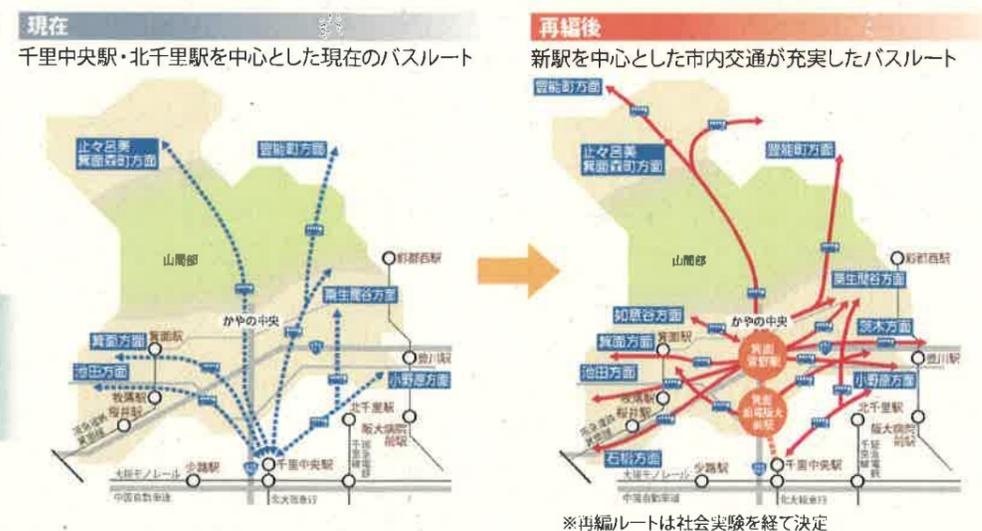
新駅ができる萱野地域は、市街地に貴重な農地が残る緑豊かなエリアです。箕面市では、鉄道延伸後も、山なみとまちなかの緑を大切にきた箕面を象徴するまちとして、この萱野地域の「身近な緑」を守り育てていく方針です。



バス路線が再編され、東西の移動がスムーズに!

バス路線は主に「駅と駅」「住宅街と駅」を結ぶため、延伸により新駅を中心にルートが再編されます。市街地の真ん中に駅ができることにより、東西方向の移動利便性が格段に良くなります。

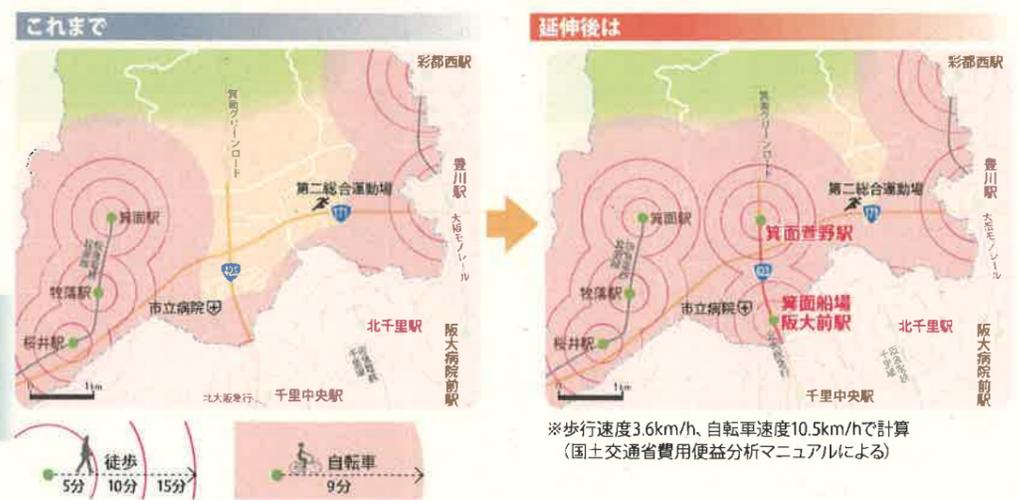
延伸によるバス路線再編のイメージ



駅まで徒歩/自転車圏が増える!

延伸により、市街地の真ん中に駅が2つできて、駅まで徒歩・自転車で行けるエリアが大幅に増え、市街地の大部分が「駅まで徒歩・自転車圏」になります。

延伸による徒歩・自転車圏の広がりイメージ



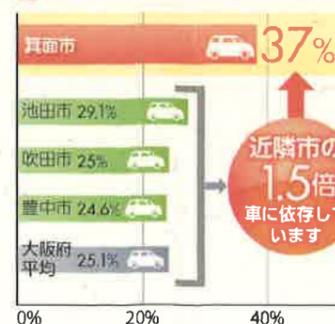
箕面市は自動車依存度が近隣市の1.5倍

箕面市は、市街地が東西に細長いのに鉄道が西部地域にしかなく、東西方向の移動も不便なため、自動車依存度が近隣市に比べて高くなっています。

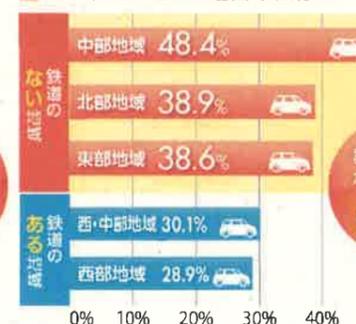
鉄道延伸で、高齢になっても暮らしやすいまちへ

鉄道とバスの両方が便利になることで自動車への依存度が下がり、高齢のかたも、子どもたちも、誰もが安全で暮らしやすいまちになります。

近隣市との自動車依存度の比較



箕面市内の地域別自動車依存度



延伸がもたらす広域効果 鉄道延伸の効果は、大阪全体にも。

北大阪急行の延伸は 広域的な効果を生む

北大阪急行線の延伸は、約2.5kmの短い距離ですが、北大阪エリア全体の活性化、大阪全体の鉄道ネットワークの形成など、広域的な効果を生む事業として、国と大阪府の計画等に沿って進められています。

北大阪急行線の延伸が位置付けられた 国・大阪府の計画等

国の運輸政策審議会答申第10号

平成元年
国の運輸政策審議会答申第10号(「大阪圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」)において、「北大阪急行南北線の延伸線 千里中央～箕面中部」が「目標年次(西暦2005年)までに整備に着手することが適当である区間」と位置付けられました。

国の近畿地方交通審議会答申8号

平成16年
国の近畿地方交通審議会答申第8号(「近畿圏における望ましい交通のあり方について」)において、「京阪神圏において、中長期的に望まれる鉄道ネットワークを構成する新たな路線」として、「北大阪急行南北線延伸 千里中央～箕面船場～新箕面2.5km」が位置付けられました。

「グランドデザイン・大阪」

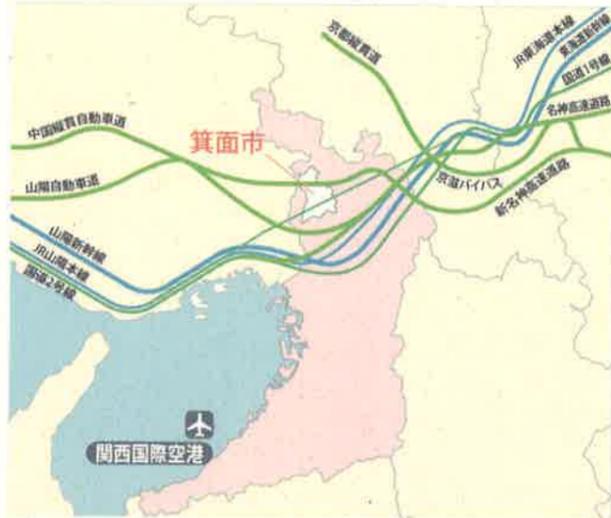
平成24年
変化する大阪の今後の方向性と、大都市・大阪の都市空間の姿を示した「グランドデザイン・大阪」(大阪府市統合本部)中、「鉄道ネットワークの充実」の項において、北大阪地域と大阪都心との直結を図る施策として「北急延伸」が位置付けられています。

大阪府「公共交通戦略」

平成26年
大阪府の都市としての魅力向上や府民の暮らしの充実を図る公共交通に関する取り組みの方向性を明示した「公共交通戦略」において、整備について個別の検討に入る路線の一つとして、北大阪急行線の延伸が位置付けられています。

大阪の南北軸の強化

南北に長い大阪は、新幹線や名神・新名神高速道路などの主要な「国土軸」と北大阪地域で接しています。北大阪急行線延伸により大阪の南北軸が強化されることで大阪全体の活性化につながるとともに、北大阪地域は関西北部から関西国際空港へのダイレクト輸送の発火点になります。

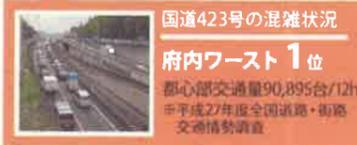


新御堂筋の渋滞を緩和

平成29年度に開通した新名神高速道路は、混雑する名神高速道路・中国自動車道を多重化し、東西国土軸を貫く主要ルートの一つとして大きな流れを形成しています。多重化される神戸～高槻間には「宝塚北SASスマート」「川西IC」「箕面とどろみIC」「茨木千提寺IC」の4つのインターチェンジができましたが、このうち大阪都心への広域アクセス道路に接続しているのは「箕面とどろみIC」だけであり、箕面グリーンロードから大阪都心に向けて大きな物流の動きが生まれます。



一方、新御堂筋(国道423号)は、現在でも大阪府内で最も自動車交通量が多く、慢性的な渋滞が発生する、広域アクセスのボトルネックとなっています。



北大阪エリア全体の発展をめざして

各駅が機能分担した個性あるまちづくり
それぞれの駅周辺が、地域性や歴史を踏まえた個性あるまちづくりを進め、機能分担していくことで、エリア全体の活性化が期待されます。



北大阪急行線の延伸は、まちづくりと都市交通の再編により、北大阪エリア全体が活気づきかけになります。

広域的な都市交通の再編

北大阪急行線の延伸を契機に、新名神高速道路やEXPO CITYにできたエンターテインメント施設からの新たな交通需要や、千里中央周辺の交通集中への対応が図られます。

1 既存バス路線の再編

千里中央に集中する路線バス・高速バスなどの一部を箕面萱野駅へシフトし、鉄道の利用促進と合わせて、新御堂筋の渋滞軽減、千里中央の交通施設機能の再編を図る

2 広域パークアンドライド

箕面萱野駅において広域パークアンドライドを展開し、鉄道の利用促進を行うことにより、北大阪全体の交通渋滞の緩和を図る

3 駅周辺の交通対策

- 千里中央の交通動線の再編・駐車場の再配置
- 箕面船場阪大前駅の歩行者動線の確保と自動車交通対策
- 箕面萱野駅の新たな交通施設整備と路線バス再編に合わせた公共交通の利用促進

鉄道で渋滞を緩和

北大阪急行線の延伸は、「人は鉄道」「物流は国道」の棲み分けに貢献し、新御堂筋(国道423号)の渋滞を緩和します。

パークアンドライドによる 渋滞緩和のイメージ



高い経済波及効果!

延伸線は、1日に約45,000人が乗降すると予測されています[箕面萱野駅の利用者約14,000人、箕面船場阪大前駅の利用者約8,500人で、乗降人数は駅利用者×2(往復分)で算出。(鉄道事業者の需要予測による)]。また、さまざまな経済波及効果も期待できます。

初期効果
2172億円

(地価上昇額と工事に伴う経済波及効果)

年間の効果
578億円/年

(商業施設の売上増、税収増など)

※経済波及効果については平成26年2月試算による

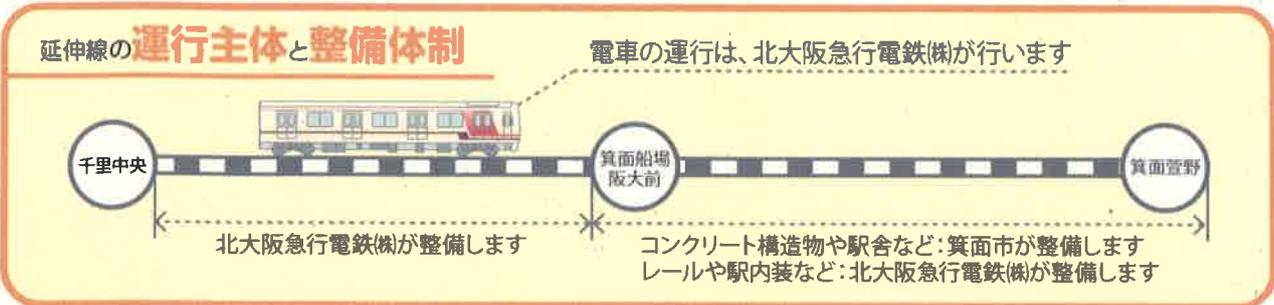
市の負担は“北急貯金”と競艇収益金で賄います

現時点で想定されている延伸の事業費は650億円（建設費600億円、車両費50億円）で、そのうち箕面市の負担は170億円です。



箕面市の負担想定額170億円
 “北急貯金”と競艇収益金のみで賄います

市の負担想定額170億円は、これまで貯めてきた北急延伸基金と、競艇事業からの収益金のみで賄うことができる見通しです。市は、この財源ルールを条例（箕面市財政基本条例）に定め、ずっと守り続けていきます。



市民の皆さまの延伸実現への熱い思いが支えになります！

●寄附のお願い

安全で快適な暮らしを支える鉄道延伸事業を応援していただきたく、賛同いただける皆さまからの寄附をお願い申し上げます。インターネットやコンビニからでも寄附ができます。

なお、ふるさと寄附金によるご寄附のうち2,000円を越える部分については、税控除を受けることができます。

詳しくは [箕面市 ふるさと寄附金](#)

●賛助会員募集！

北大阪急行線延伸推進会議では、北急延伸実現に向けて国や関係者などに働きかけを行っています。

賛同いただける地元自治会など、多くの皆さまに「賛助会員」になっていただきますようお願い申し上げます。

ご賛同いただける団体等ございましたら、推進会議（ページ下お問い合わせ先）までご連絡ください。



いつでも説明に伺います

10人程度集まっただけであれば、計画の内容や現在の進捗状況など、出張して説明させていただきます！お気軽にお問い合わせください。（ページ下お問い合わせ先まで）

北大阪急行線延伸推進会議（構成メンバー）

令和元年11月末現在

- 構成員** 箕面市、箕面商工会議所、大阪北部農業協同組合、大阪船場織維卸商団地協同組合
- 顧問** 地元選出府議会議員、市議会（議長・副議長・交通対策特別委員会委員長・同副委員長）
- オブザーバー** 大阪府
- 支援団体** 豊能町、能勢町、川西市、丹波篠山市、猪名川町、亀岡市、南丹市、京丹波町
- 賛助会員** 稲西自治会、小野原自治連合会、宮崎自治会、若宮自治会、神楽自治会、岩戸自治会、大西自治会、日の丸自治会、大東自治会、日の出自治会、粟生間谷地区、奥自治会、川合自治会、中村自治会、山之口自治会、粟生新家自治会、粟生外院自治会、北浦自治会、芝自治会、今宮自治会、西宿自治会、今宮南自治会、如意谷第2自治会、箕面如意谷住宅自治会、今宮東自治会、白鳥自治会、石丸自治会、唐池公園地区自治会、今宮コミュニティクラブ、箕面東自治会、メゾン箕面青松園前自治会、西小路第三自治会、坊島東自治会、新生自治会、坊島自治会、上止々呂美自治会、船場西地区連合自治会、西宿二丁目自治会、かやの中央まち育て協議会、(一社)箕面青年会議所、箕面ライオンズクラブ、箕面船場ライオンズクラブ、箕面ロータリークラブ、箕面千里中央ロータリークラブ、箕面FMまちそだて(株)、箕面市観光協会、(公財)箕面市メイプル文化財団、(公財)箕面市国際交流協会、(一社)大阪府宅地建物取引業協会北摂支部、箕面測量設計協会、箕面都市開発(株)、緑遊新都心(株)、東急不動産(株)、ウィル包装(株)、大和ハウス工業(株)北摂支店、弘伸商事(株)、(株)シュウロウライフ、近畿セイビ(株)、箕菜会、箕面市建設業協同組合、箕面市管工事業協同組合、箕面船場まちづくり協議会、大阪大学外国語学部、聖母被昇天学院、大阪青山大学・短期大学、梅花女子大学・短期大学部、関西大倉中学校・高等学校、追手門学院、早稲田摂陵中学校・高等学校

お問い合わせ

北大阪急行線延伸推進会議（箕面市 地域創造部 鉄道延伸室）

〒562-0003 大阪府箕面市西小路4丁目6番1号 TEL:072-723-2121 (代)

FAX:072-722-7655

オレンジゆずるバスの本格運行の状況

1. 本格運行の利用状況（1日あたりの利用者数の推移）

（1）月曜～土曜

（人）

	青ルート (西部北・東部北循環)	赤ルート (中部・東部中循環)	黄ルート (西部南・東部南循環)	合計
平成 26 年度 (平成 26 年 5 月～平成 27 年 3 月)	490	451	424	1,365
平成 27 年度 (平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)	493	482	433	1,408
平成 28 年度 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)	525	519	452	1,496
平成 29 年度 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)	549	553	486	1,588
平成 30 年度 (平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)	550	547	500	1,597
令和元年度 (平成 31 年 4 月～令和元年 11 月)	583	562	532	1,677

（2）日曜・祝日

（人）

	紫ルート (笑面駅・桜井・平和台・如意谷循環)	緑ルート (かやの中央・小野原・粟生団地循環)	合計
平成 28 年度 (平成 28 年 7 月～平成 29 年 3 月)	86	47	133
平成 29 年度 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)	89	44	133
平成 30 年度 (平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)	92	45	137
令和元年度 (平成 31 年 4 月～令和元年 11 月)	102	46	148

2. 令和元年度本格運行の状況

（1）月曜～土曜

① 1日あたりの利用者数

（人）

	青ルート (西部北・東部北循環)	赤ルート (中部・東部中循環)	黄ルート (西部南・東部南循環)	合計
月曜～金曜	613	561	589	1,763
土曜	431	387	435	1,253
月曜～土曜	583	562	532	1,677

※平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 11 月 30 日まで（195 日分）

②収支率 (％)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
44.7	46.9	49.7	50.2	46.5	53.4	46.0	47.3	-	-	-	-	48.1

※平成31年4月1日から令和元年11月30日まで (195日分)

(2) 日曜・祝日

①1日あたりの利用者数 (人)

	紫ルート (箕面駅・桜井・平和台・如意谷循環)	緑ルート (かやの中央・小野原・粟生団地循環)	合計
日曜・祝日	102	46	148

※平成31年4月1日から令和元年11月30日 (49日分)

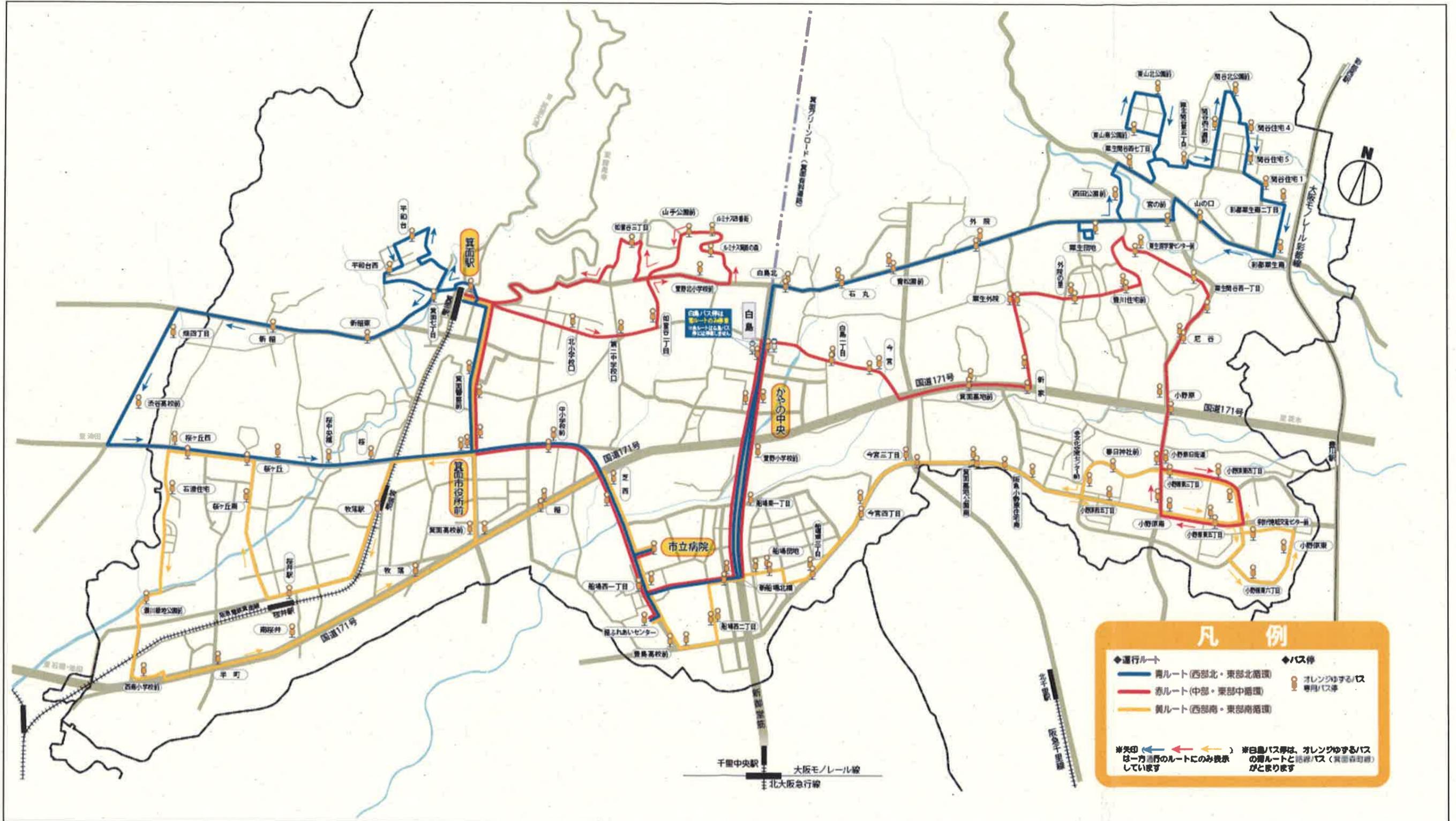
②収支率 (％)

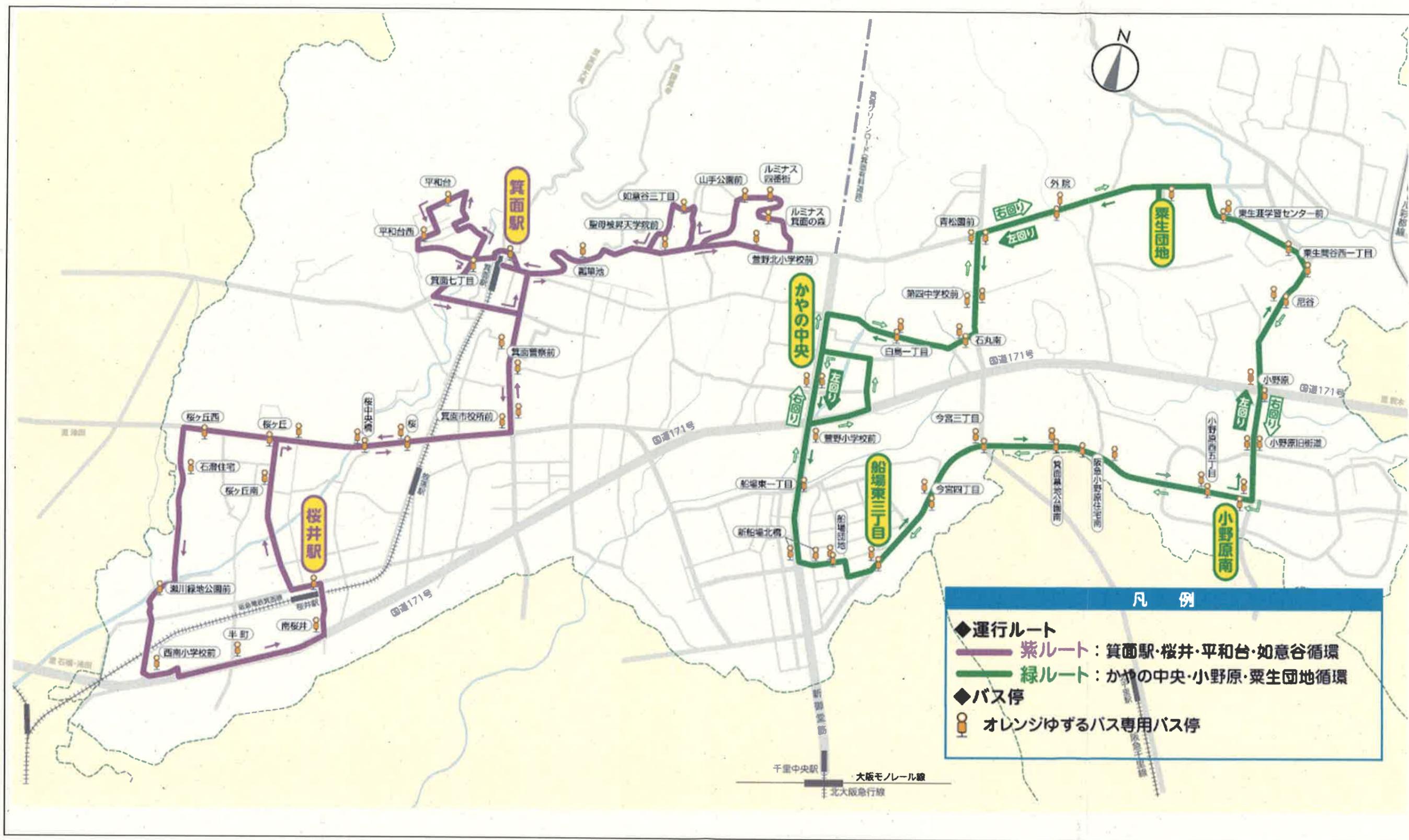
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
29.3	32.7	31.6	34.5	34.4	33.0	29.0	33.4	-	-	-	-	32.2

※平成31年4月1日から令和元年11月30日 (49日分)

2. 運行ルート

【月曜日～土曜日】





箕面市地域公共交通網形成計画の作成について

箕面市 箕面市地域公共交通活性化協議会

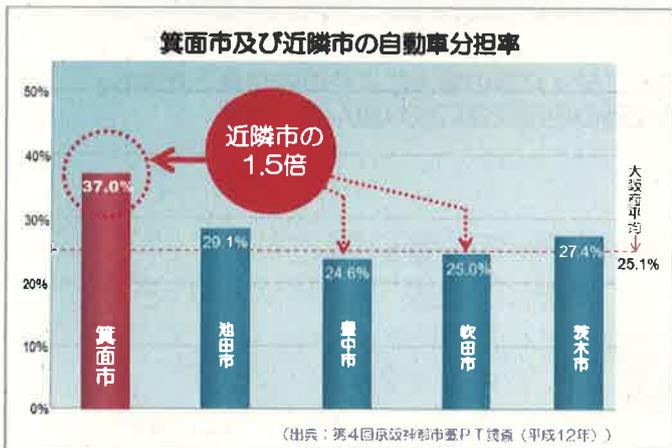
箕面市の交通課題① 自動車依存率

箕面市における自動車分担率（出かけるときに自家用車を使う割合）は、大阪府平均や近隣市に比べて1.5倍と高くなっており、市内の地域別で見ると鉄道のない地域で明らかに高い状況です。

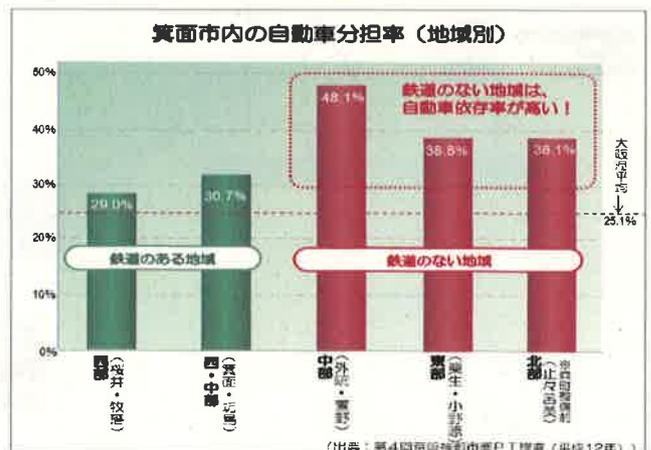
また、公共交通の利用者数も減っており、今後、公共交通のサービスレベルが下がることも危惧されます。



(1) 箕面市の自動車分担率と近隣市の比較



(2) 箕面市内の地域別自動車分担率

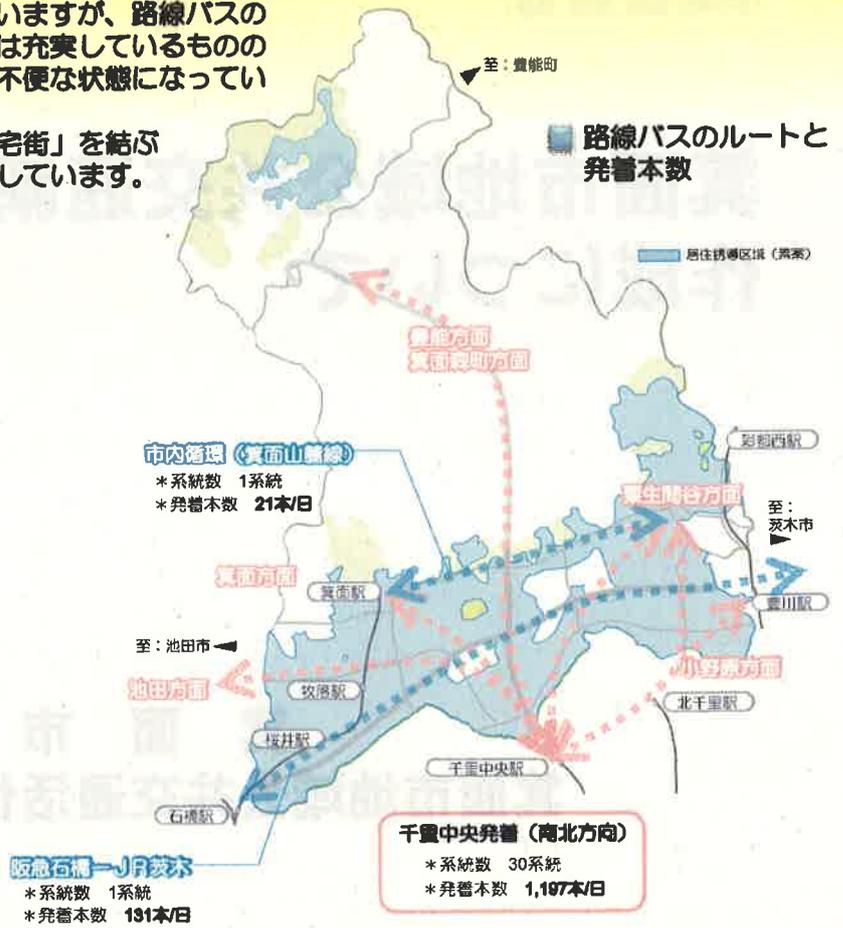


箕面市の交通課題② 路線バスのルート

バス停は市街地のほぼ全域をカバーしていますが、路線バスのルートと発着本数を精査すると、南北方向は充実しているものの東西方向が弱く、市内の東西移動が非常に不便な状態になっています。

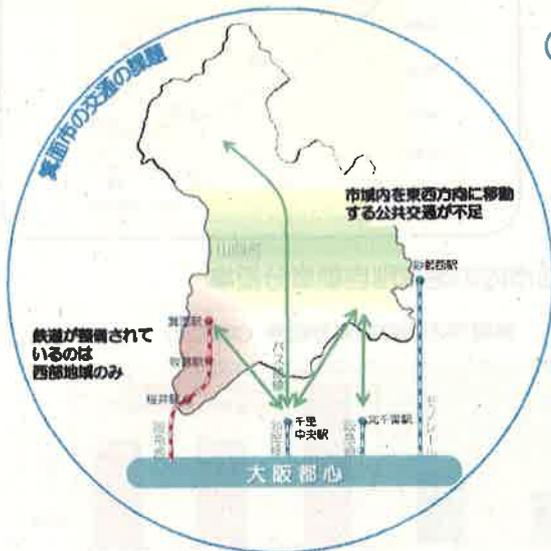
これは、バス路線が「駅と駅」「駅と住宅街」を結ぶ“鉄道駅フィーダー型”であることに起因しています。

バス停の分布状況



課題解決に向けたこれまでの取り組み

箕面市では、大きな2つの交通課題の解決に向けて、短期的な課題解決としてコミュニティバスによる市内移動の充実、抜本的な課題解決として北大阪急行線の延伸をめざして取り組んできました。取り組みにあたっては、2つの交通計画を策定して計画的に進めています。



(1) まずは短期的な課題の解決をめざす

箕面市地域公共交通総合連携計画

(H22.3策定)

コミュニティバスの導入により市内交通を充実し、公共交通の利用促進に取り組んでいます

(2) 箕面市の都市基盤に残された“最後の課題”の解決をめざす

箕面市総合都市交通戦略

(H24.3策定)

北大阪急行線の延伸により、鉄道の利用者増だけでなく、新駅を中心としたバス路線の再編を図り、市の交通課題の抜本的な解消めざして取り組んでいます

「箕面市地域公共交通連携計画」では、コミュニティバスによる市内交通の充実をめざして、4つの重点施策を掲げています。

重点施策1 新たなバス交通の整備

Mバスに代わって、新たに市内を循環するバスを実証運行させ、路線バスとの連携や役割分担を行う。

実証運行の期間は3ヵ年とし、期間中は年度ごとに運行実績の評価を行い、評価基準に基づいて改善（見直し）を行う。そして、実証運行の結果を踏まえて、将来的な本格運行を目指す。

重点施策3 鉄道と新たなバス等との連携

箕面市民が市内の移動に留まらず、広域の移動においても、積極的に公共交通によって移動することを促進するとともに、市外からの来訪者に対する公共交通サービスの向上ならびに利用を促進するために、他のモード（鉄道）との連携を図る。

- ・交通案内所の設置
- ・イベント・キャンペーンの共同開催

重点施策2 路線バスと新たなバスとの連携

箕面市全体の公共交通サービスを維持・向上するという視点から、サービスの共通化・共同実施、役割分担、課題の解決に向けた取り組みの実施等について路線バスとの連携を図り、共存共栄できる関係を構築する。

- ・バス停、パスカードの共通化
- ・乗り継ぎ割引の導入
- ・競合路線におけるダイヤ調整 等

重点施策4 公共交通の利用促進

【ハード整備による利用促進】

- ・主要なバス停でベンチ・上屋の設置
- ・車両のラッピング
- ・バスロケーションシステムの導入 等

【ソフトによる利用促進】

- ・バスマップの作成配布
- ・情報誌とのタイアップ
- ・エコショッピング制度の導入 等

地域公共交通連携計画の進捗状況

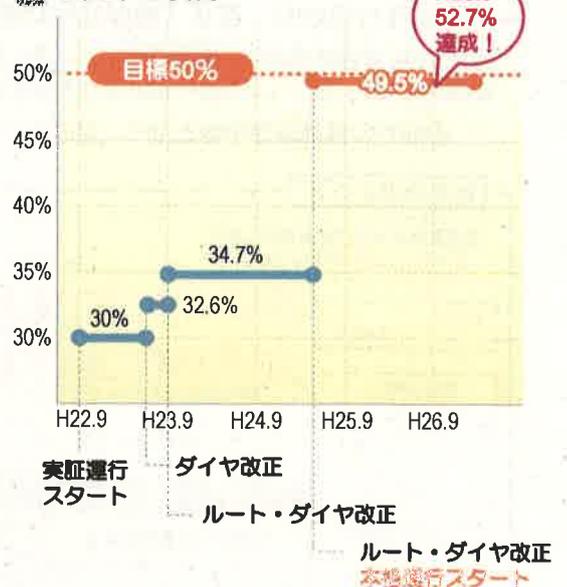
連携計画に基づき、市民参加の協議会で活発な検討が進められ、コミュニティバス「オレンジゆるするバス」が誕生しました。

平日ルートは本格運行に入り目標の収支率に近づいており、計画は最終段階に入っています。

計画項目の実施状況

施策No	計画項目（抜粋）	実施状況
重点 施策1	新たなバスの運行	本格運行中
重点 施策2	バス停・パスカードの共通化	完了
	乗り継ぎ割引の導入	完了
	競合路線におけるダイヤ調整	完了
重点 施策3	交通案内所の設置	完了
	イベント・キャンペーンの共同開催	継続中
重点 施策4	主要なバス停でベンチ・上屋の設置	完了
	車両のラッピング	完了
	バスロケーションシステムの導入	完了
	バスマップの作成配布	継続中
	情報誌とのタイアップ	継続中
	エコショッピング制度の導入	実施中

収支率の状況



※上図は平日ルートのもの。

「箕面市総合都市交通戦略」では、北大阪急行線の延伸をリーディングプログラムに、鉄道延伸を軸にした箕面市全域の交通まちづくりを進めています。

基本戦略Ⅰ 質の高い生活を支える公共交通サービスの充実

- (a) 鉄道（北大阪急行線）の延伸
リーディングプログラムとして北大阪急行線の延伸を進める。
- (b) バス路線網の再編
鉄軌道の整備効果を面的に波及させるため、バス路線網の整備を進める。
- (c) 公共交通利用環境の整備（バス・タクシー）
- (d) 公共交通のシームレス化

基本戦略Ⅱ 多様な交通基盤としての道路の使い方の見直し

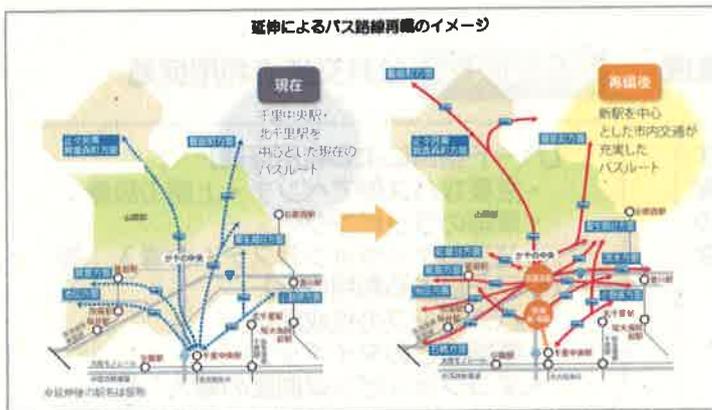
- (a) 道路整備・改良（都市計画道路・交差点）
新駅へのアクセス性の向上を目的とした新駅周辺の道路整備及び交差点改良を推進する
- (b) 道路空間の再配分（バスレーン・自転車走行空間）
バスレーンや自転車走行空間の整備を進める

基本戦略Ⅲ 新たな魅力拠点となる駅周辺のまちづくり

- (a) 交通結節点の整備（駅前広場、駐車・駐輪）
- (b) 新駅周辺まちづくりとの連携

基本戦略Ⅳ 安心・安全でみんなが使う交通まちづくり

- (a) 防災まちづくり
- (b) バリアフリー化
- (c) 交通安全・マナー教育の実施
- (d) 公共交通の利用促進
(モビリティ・マネジメントの実施、環境への配慮)



公共交通に関する国の動き

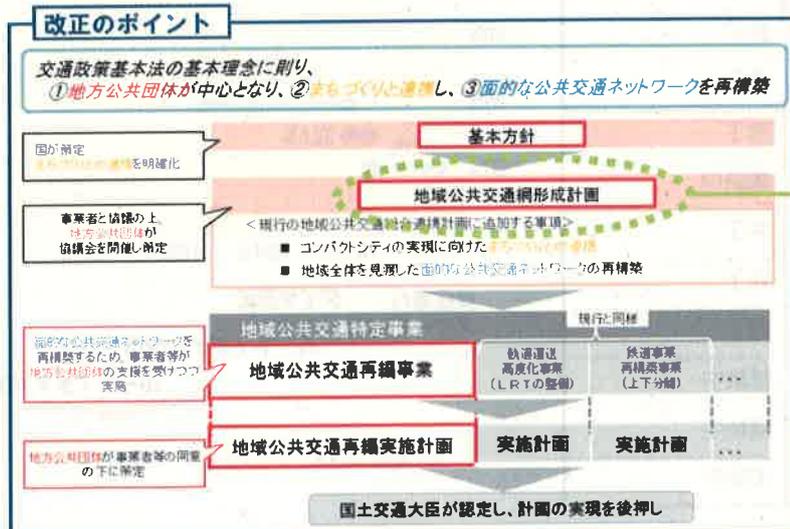
国では、地域公共交通の維持・改善は交通分野の課題解決にとどまらず、地域活性化のために不可欠な地域の装置・社会インフラであるとして、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築をめざし、地域公共交通活性化再生法を改正しました。

*平成25年12月4日 「交通政策基本法」施行

*平成26年11月20日 改正「地域公共交通活性化再生法」施行

地域公共交通の維持・改善を単に交通分野の課題解決としてではなく、まちづくりと一体となった地域戦略の一環として取り組む方向性を提示 → 交通政策基本法の理念に則り、

- ①地方公共団体が中心となり、②まちづくりと連携し、③面的な公共交通ネットワークを再構築



法改正により今後は、「地域公共交通連携計画」は廃止となり、市町村は、新たに「地域公共交通網形成計画」を策定していくことになります。

地域公共交通網形成計画は、都市計画や立地適正化計画等と調和がとれたものである必要があります。
(法§5⑥、基本方針二二)

地域公共交通網形成計画を策定する際は、既存の総合都市交通戦略を統合することができます。

※国交省パンフレット「人とまち、未来をつなぐネットワーク～地域公共交通活性化再生法の一部改正～」から抜粋

箕面市の今後の取り組みの方向性

箕面市では、今後、現行の2計画を統合・発展し、「箕面市地域公共交通網形成計画」の策定を進めます。新計画では、現行2計画の方向性を継承するとともに、立地適正化計画との整合を重視していきます。



基本の方向性

現行2計画の方向性を継承

- ・ 北大阪急行線の延伸
- ・ バス路線の再編（オレンジゆするバスを含む）
- ・ 交通結節点の整備
- ・ 新駅周辺まちづくりとの連携 等を推進します

立地適正化計画との整合を重視

- ・ 2つの居住誘導区域、4つの都市機能誘導区域を有機的に結ぶ公共交通ネットワークを構築します

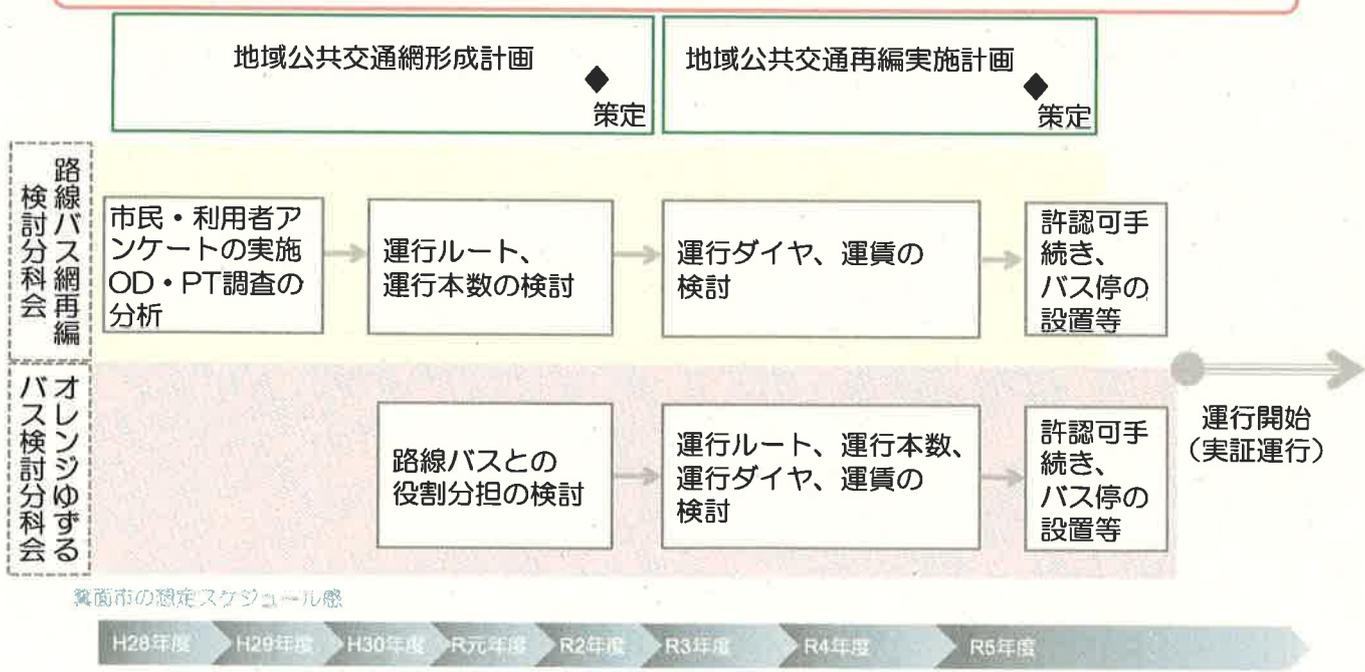
検討の進め方イメージ



箕面市の今後の取り組みの方向性

路線バスとともにオレンジゆするバス路線網も検討していくが、路線バス網の検討の後にオレンジゆするバスの検討を行う。

地域公共交通網形成計画および地域公共交通再編実施計画策定スケジュール



北大阪急行線延伸工事現場視察 行程



時間	内容 (1班)
13:15 ~ 13:45: 0:30	【行程等説明】 箕面市役所委員会室
13:45 ~ 14:00: 0:15	バス移動 箕面市役所→A
14:00 ~ 14:50: 0:50	【視察】シールド区間 A
14:50 ~ 15:00: 0:10	バス移動(区画整理 車中視察) A⇒B⇒C
15:00 ~ 15:25: 0:25	【視察】高架・開削区間 C
15:25 ~ 15:35: 0:10	バス移動 C⇒D
15:35 ~ 16:00: 0:25	【視察】高架区間 D
16:00 ~ 16:15: 0:15	バス移動 D⇒箕面市役所

時間	内容 (2班)
13:15 ~ 13:45: 0:30	【行程等説明】 箕面市役所委員会室
13:45 ~ 14:00: 0:15	バス移動 箕面市役所→D
14:00 ~ 14:25: 0:25	【視察】高架区間 D
14:25 ~ 14:35: 0:10	バス移動 D⇒C
14:35 ~ 15:00: 0:25	【視察】高架区間・開削区間 C
15:00 ~ 15:05: 0:05	バス移動 C⇒A
15:05 ~ 15:55: 0:50	【視察】シールド区間 A
15:55 ~ 16:15: 0:20	バス移動(区画整理 車中視察) A⇒B⇒箕面市役所

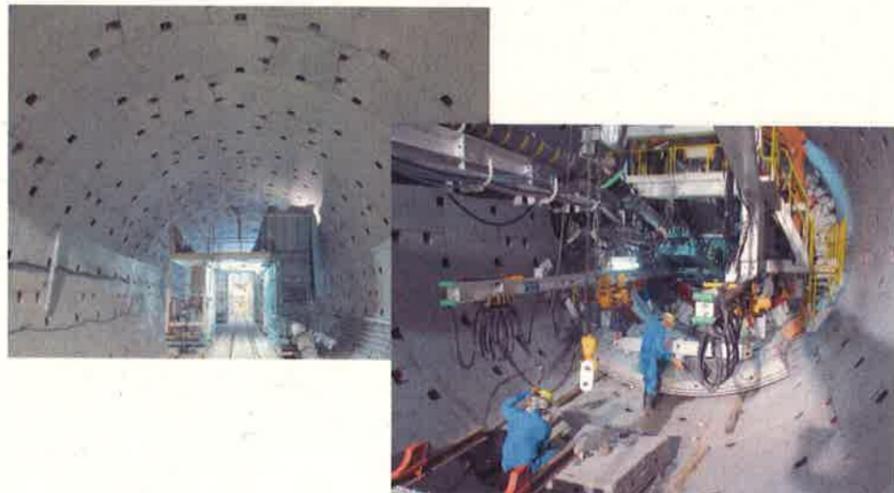
令和2年2月7日(金)作業内容【予定】

開削区間・箕面船場阪大前駅	躯体工
高架区間・箕面萱野駅	橋脚工、橋桁工
シールドトンネル区間	シールドマシン掘進工

A シールドトンネル区間(セグメントヤード・プラントヤード)



A シールドトンネル区間(シールドマシン掘削工)



B 土地区画整理(市複合公共施設・大阪大学箕面キャンパス)



C 高架・開削区間(トンネル抗口・高架部分)



D 高架区画(国道171号交差部分)

